

5-2. 青少年の健全育成

(1) 現況と課題

本町では、これまで地域リーダーの育成や体験学習の機会を充実するなど、青少年の健全育成に努めてきましたが、これからは、様々な社会体験の機会を提供し、青少年の幅広い人間性、思考の柔軟性、他人を思いやる気持ちなどを育むことが重要となってきます。

そこで、家庭、学校、職場、地域が一体となって、社会貢献に意欲を持ち、思いやりの心と生きる力を備えたたくましい青少年を育てるために、自然・体験活動の提供、地域リーダーの育成、家庭教育のさらなる充実が求められています。

(2) 5年間の政策目標

- ①「みんなで育てる」第一歩として、子どもに対して自信を持ってしつけや経験を教えられる親になる環境を整備します。
- ②「未来を担う子ども達を育てたい。」という地域の人たちの活動を支援します。
- ③物事に自主的、主体的に取り組む姿勢をもった青少年を、家庭、学校、職場、地域が一体となって育てる環境を整備します。

(3) 施策

5-2-1. 自然・体験活動への支援

民間団体、NPO法人*、地域団体が実施する自然・体験活動を支援します。また、公民館事業と連携し、親を対象とした、親が親であるための講座や教室を開催します。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
自然・体験活動参加者数 (単位:人)	2, 3 6 2 人	4, 0 0 0 人

【事業】

- 自然・体験活動への支援
 - ┆ 青少年対象自然・体験活動支援事業費
 - ┆ 「親育て」支援事業費
 - ┆ 青少年教育推進事業費

【関連施策】

- 2-2-3 高齢者の生きがい支援 3-1-2 環境保全に取り組む人材の育成
- 3-2-2 環境学習の充実 5-3-1 地域協働団体等の育成と支援 6-1-2 住民協働推進計画の策定と運用

5-2-2. 地域リーダーの育成

研修事業を通じて地域リーダーを育てるとともに、地域リーダーが小学生ジュニアリーダーや次世代青年リーダーを育成していく仕組みを整えます。さらに、中高生のリーダースクラブを各中学校区に設立します。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
①地域公民館単位の巡回講座年間開催回数 (単位:回)	0 回	2 4 回
②中高生のリーダースクラブ設立数 (単位:箇所)	1 箇所	2 箇所

【事業】

○地域リーダーの育成

┆ ジュニアリーダー育成事業費

┆ 成人式典費

5-2-3. 地域・団体等の教育力への支援

「青少年は、家庭、学校、職場、地域が一体となって育てる。」を実践するため、小山文化スポーツ振興基金を活用して、教育振興に関する団体や個人の活動を支援し、地域の青少年健全育成の充実を図ります。

5-2-4. 若者の居場所づくり

ニート*やひきこもりの青少年を対象として、若者の居場所を1箇所設置し、カウンセリングを行いながら社会の一員としての必要な規範、価値意識、行動様式を身に付けさせ、社会人としての自立を支援します。

(4) 効率化目標

①コスト削減

地域や団体の体験教室の修了生グループを、自立した団体等に育てることにより支援コストを削減します。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
自立団体数 (単位：団体)	3 団体	10 団体

(5) サービス向上目標

・各施策において、事業等の周知を町のホームページ、広報誌、ポスター、チラシなどを活用し、関係者全般に周知できるようにします。

・年代による理解度の違いを考え、分かりやすい内容にします。

・参加者の利便性を考慮し、場所や時間を設定します。